

番号	94	川上丹生神社の倒壊した鳥居		
所在地	嬉野市嬉野町不動山丙 1 3 1 2 丹生川地区			
災害別	文政 1 1 年（ 1 8 2 8 ）子年の大風（シーボルト台風）による暴風			
目的別	遺 構		建立年	寛政元年（ 1 7 8 9 ）
特記事項				



嬉野市嬉野町不動山^{たんにょう}の丹生川地区にある川上丹生神社の鳥居。文政 1 1 年（1 8 2 8 年）8 月 9 日～1 0 日（現在の暦で 9 月 1 7 日～1 8 日）、佐賀を襲った子年の大風、通称シーボルト台風は、最大風速 5 5 m/s ともいわれ、佐賀に未曾有の被害をもたらした。神社の大鳥居はその時吹き倒されたもの。現在、第一石柱の上に肥前狛犬という珍しい狛犬が据えられている。倒壊した鳥居の石材は、今でも鳥居の脇に積み上げられている。

「文政 1 1 年（1 8 2 8）は、いわゆる「子年の大風」と後世にまで語り継がれている大暴風雨に見舞われた。北九州一帯が台風に襲われ、肥前国内は一夕にして一万二千人の死者を出し、多くの家屋が倒壊し、流失し、焼失したという。

（中略）この大風で、不動山丹生神社の大



国土地理院電子国土 Web

鳥居が倒れたり、下宿、明元寺の本堂の瓦が二千五百枚吹き飛んだと言われ、その時の被害が大きかったことが想像される。」(嬉野町史 上巻 P767～768)

「我が不動山丹生川にある丹生神社に参じて見ると鳥居は左右の柱は第一石を残しただけで他の石材はあたりに転んでいる。この鳥居は俗に言う子の年の嵐の為に転んだと言い伝えられている。」 「佐賀県災異誌」(1964年 佐賀県防災課発行 P156「不動郷土史」原文はカタカナ表記)

